

河の女 The Girl on the River

1987年 35ミリ カラー 94分 ベトナム 日本語・英語字幕付き

監督：ダン・ニャット・ミン

脚本：ダン・ニャット・ミン

撮影：ファム・ヴィエト・タイン

美術：ソー・テイ・ホアン

音楽：チン・コン・ソウ

ファム・チョン・カウ

出演：ミン・チャウ

ハー・スエン

アイン・ズン

チャ・ヴァン・ソン

ベトナム戦争中、ベトナム中部の古都フエを流れる川に数多くの舟が浮かんでいた。その舟には南ベトナム政府軍を相手とする娼婦たちが住んでいた。ニュエもそんな女の一人だが、ある日政府軍に追われた解放戦線のリーダー、リエンがニュエの舟に逃げ込んでくる。傷ついたリエンを助けたニュエは彼を舟の中に匿うのだった。リエンは舟に留まり、ニュエと恋に落ちる。そして戦争が終わった後再会することを約束して、戦場に復帰していくのだった。戦後、普通の仕事に就いたニュエは偶然、政府高官となったリエンに再会する。しかしリエンは人違いだと突っぱね、またこのことを記事にしようとした雑誌社にも圧力をかけるのだった。

戦争中は素晴らしい指導者だった人物が、戦後冷たい自己保身の官僚に変わってしまう。87年当時このような設定は社会主義国ベトナムでは痛烈な体制批判であり、その意味では本作は画期的な作品だった。本作は完成後政府高官の批判により、ベトナム国内ではしばらくの間上映されなかった。しかし監督は現実を描くことを「天からあたえられた使命」と言い、「警告を発することで、ベトナム社会をより良いものにしていくことが目的」と語っている。また本作には深みのある詩情がただよっており、痛烈な批判性と傑出した映像美により本作は80年代最高のベトナム映画となった。世界各国の映画祭で上映された名作である。